

環境分野 政策 1 「自然とひとが調和した快適な空間の保全と創出」

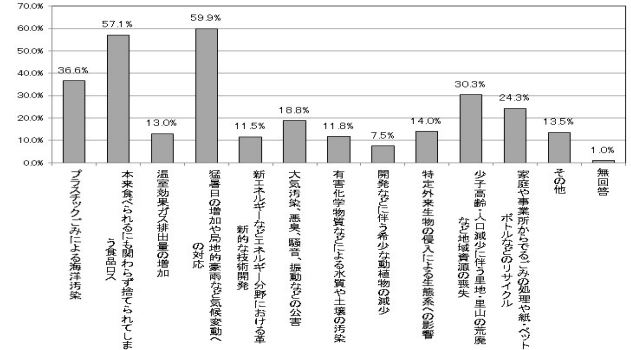
目指す姿

豊かな自然環境と調和した良好な生活環境が保全されている。

【現状と課題】

- 国は、徹底した省エネルギーの推進と再生可能エネルギーの最大限の導入をはじめ、技術開発の一層の加速化や社会実装、ライフスタイル・ワークスタイルの変革などの地球温暖化対策を進めています。
- 本市は、省エネルギー化の普及啓発や再生可能エネルギーの導入を促進するとともに、地球温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を促す国民運動（COOL CHOICE）に取り組んでいます。
- 本市の生活環境は、おおむね良好な状態で保全されていますが、都市化の進展に伴う大気・水環境の汚染や騒音・振動・悪臭に関する苦情が発生しています。また、国内では、アスベスト使用建築物の解体件数が令和 10 年（2028 年）頃にピークを迎えるとされており、アスベスト飛散防止に向けた対策の強化が求められています。
- 野生動植物の生息環境の消失や侵略的外来種の増加、海洋環境中のマイクロプラスチックによる生態系への影響等が懸念される中、本市は生物多様性ひめじ戦略に基づき、市民、大学、事業者、行政が協働して生物多様性の保全に取り組んでいます。
- 本市では、自治会を中心とした地域団体によるまちの美化活動が行われていますが、高齢化や地域団体への加入率の低下に伴い、美化活動への参加者の減少が懸念されています。

※関連データ：市民意識（関心のある環境問題）



(資料) 姫市新環境基本計画策定に関する市民意識調査 (令和 2 年 4 月実施)

【目指す姿を実現するための方向性】

|    |  |
|----|--|
| 地域 | <p><b>ア 環境保全に向けたパートナーシップの充実・強化</b></p> <p>住民、事業者、行政などのステークホルダー（利害関係者）が、自らの責任や役割を理解し、あらゆる世代に対して環境に関する学習機会の提供や啓発、まちの美化活動などに連携・協力して取り組む、環境保全に向けたパートナーシップの充実・強化を図ります。</p>  |
|    | <p><b>イ 地球温暖化対策に寄与する低炭素型のまちづくりの推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 脱炭素型の製品への買換えやサービスの利用など、環境にやさしいライフスタイルと事業活動への転換を促進します。</li> <li>○ 地域の特性を活かした再生可能エネルギーの導入促進により自立・分散型エネルギーの普及を図るなど、地域資源を持続可能な形で活用します。また、次世代エネルギーとして注目される水素エネルギーの利用拡大に向け、水素ステーションの整備や燃料電池自動車の普及を促進します。</li> </ul> |
| 活力 | <p><b>ウ 生物多様性の保全に向けた環境づくり</b></p> <p>豊かな自然環境がもたらす水や食料、気候の安定などの自然の恵みを持続的に享受するため、里山や水系の保全活動等により、ひとの営みと豊かな自然環境との調和を図りながら、地域における日本固有の生態系をはじめとした生物多様性の保全に向けた環境づくりに取り組みます。</p>   |
|    | <p><b>エ 良好な生活環境の保全に必要な体制の確保</b></p> <p>大気・水環境が良好で、適度な静けさが確保された生活環境を保全するため、環境汚染等の発生源に対し適切に指導・規制するとともに、生活環境を保全する基盤となる環境監視体制を確保します。</p>   |
| 土台 |  |

市民、地域コミュニティ、企業・団体に期待すること

|          |   |
|----------|---|
| 市民       | <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 環境にやさしい商品の積極的な利用やマイバックの持参など、日常生活の中で環境負荷を低減し、持続可能なライフスタイルを実践しましょう。</li> </ul> |
| 地域コミュニティ | <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 地域の美化活動等を通じて、環境保全活動の輪を広げましょう。</li> </ul>                                     |
| 企業・団体    | <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 法令を遵守し、環境負荷の少ない事業活動を実践しましょう。</li> </ul>                                      |